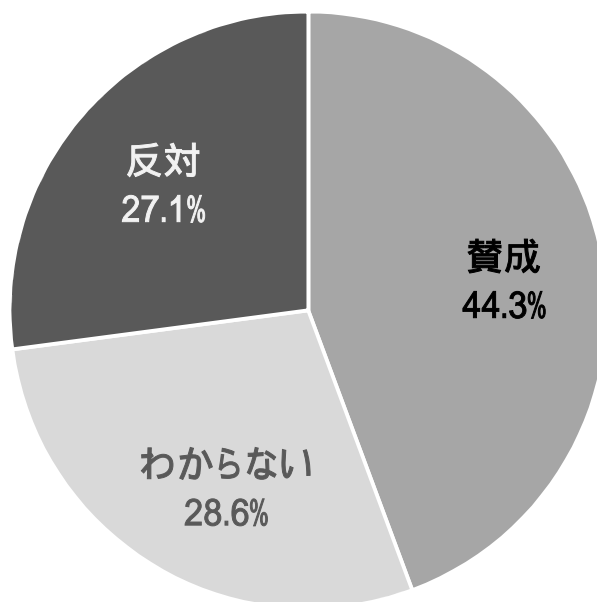


選挙権年齢18歳以上への引き下げに賛成ですか？



去る6月17日、参院本会議にて選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が可決、成立しました。国政選挙では来年夏の参院選から適用される見通しで、岡山県では18～19歳のおよそ38,000人が新たに有権者となります。戦後初の選挙で「25歳以上男子」から現行の「20歳以上男女」に変えて以来の約70年ぶりの大改革です。

岡山情報文化研究所では改正案が今国会に再提出される動きとのニュースを受け、2月末にこの法案に対する意見を県民のみなさんに聞いてみました。

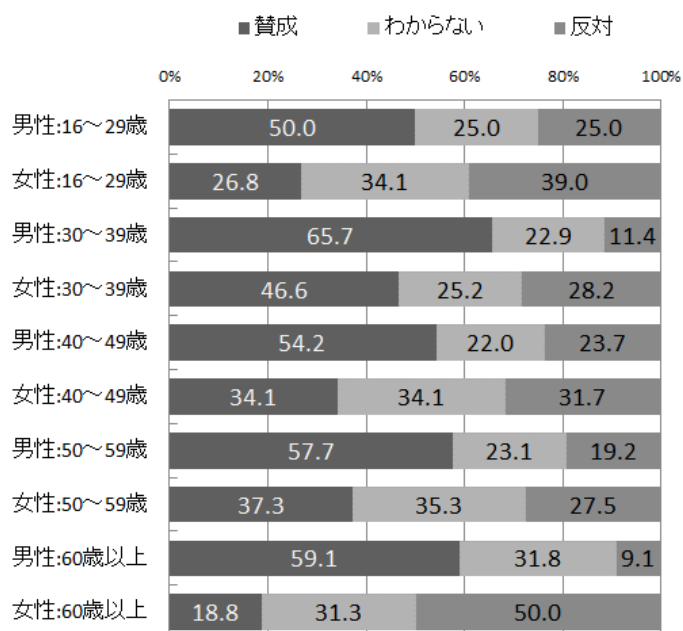
『選挙権年齢の18歳以上への引き下げ』に「賛成」は44.3%、「わからない」が28.6%、「反対」は27.1%という結果が出ました。

【調査概要】 調査時期：2015年2月25日(水)～3月3日(火) 調査対象：岡山県在住の男女539名
調査方法：自社アンケートパネル『Vinsight(ビンサイト)』によるインターネット調査 男性32.7%、女性67.3%
16～29歳9.1%、30～39歳30.9%、40～49歳33.8%、50～59歳19.1%、60歳以上7.1% 岡山市52.5%、
倉敷市23.0%、その他県内24.5%

この件に関するお問い合わせ先

協同組合岡山情報文化研究所 / 原内 〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-7 県土連ビル 1F
電話 086-225-8181 <http://www.vis-a-vis.co.jp/archives/data/contact/>

Q. 『選挙権年齢の18歳以上への引き下げ』に賛成ですか？反対ですか？



どの年代も男女差が大きく表れており、男性のほうが賛成多数となっています。

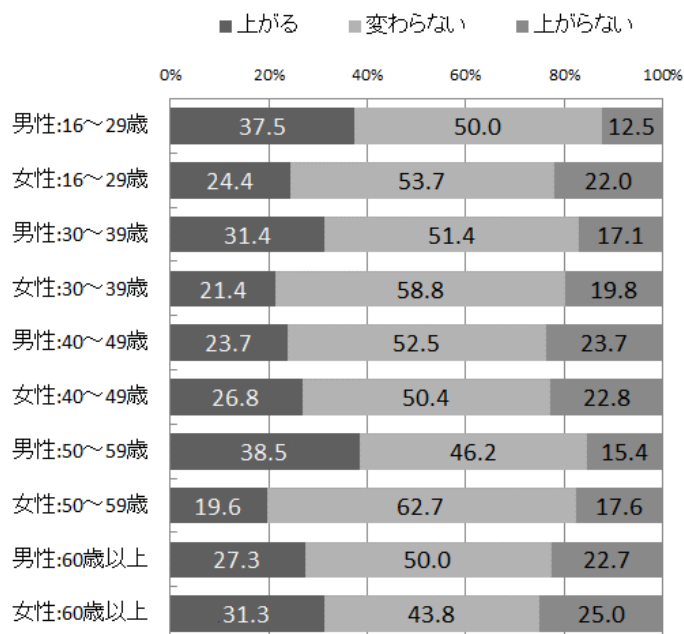
男性で「賛成」と回答した人はどの年代も過半数を超え、30代以上ではそれぞれ6割を占めています。

女性で「賛成」と回答した人は年代によって若干バラつきが見られ、30代が最も多く半数弱を占め、次いで40代50代が4割弱、20代が2割半ば、最も少ないのが60歳以上で2割弱となっています。

回答選択の理由(自由記述)については多くの人が「18歳が大人であるか否か」「判断能力の有無」が根拠とな

っていました。賛成派は18歳は判断能力有りとし、また更には「選挙の重要性を促したい」「若い人の意見を取り入れたい」と、投票率アップよりも若者の政治参加に意義を感じています。反対派は「投票効果や内容を危惧」する声が多く見られ、また「選挙権だけの年齢引き下げ」に疑念を持っています。

Q. 選挙権年齢の引き下げにより、若者の投票率はどうなると思いますか？

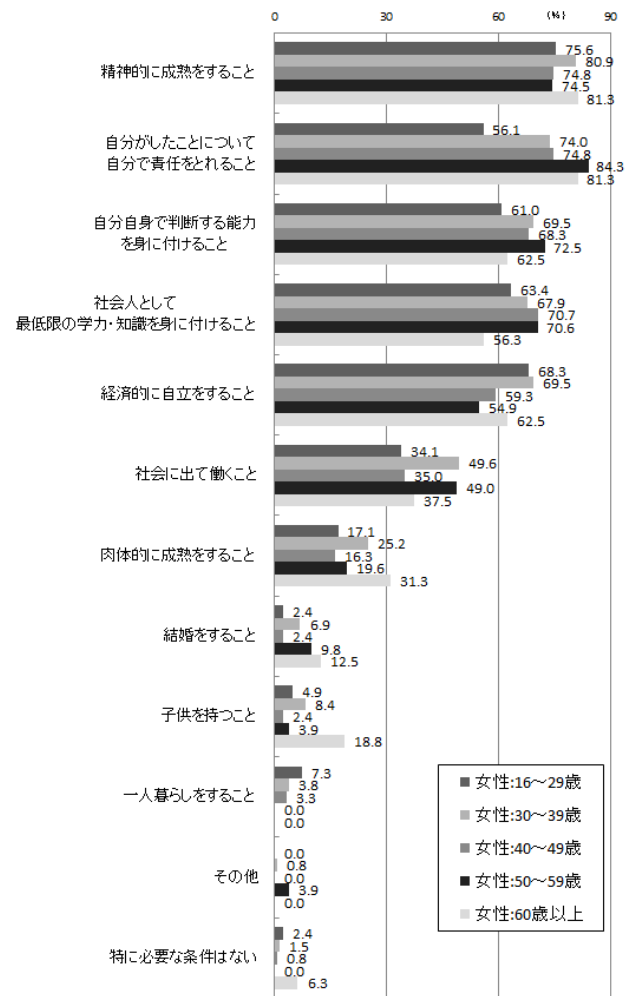
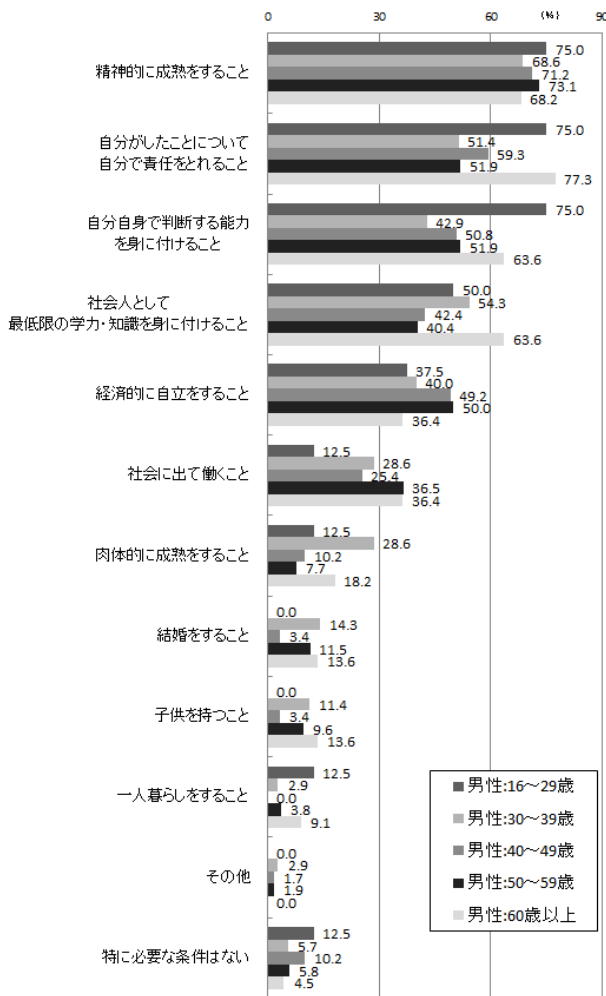


では、選挙権年齢の引き下げによって、若者の投票率はどうなると思っているのでしょうか。

選挙権引き下げ賛否に比べ、「わからない」と回答する人が格段に増えています。引き下げに賛成である人も全員が投票率が「上がる」と思っているわけではないことがわかります。

表、図及びデータ編の値は、四捨五入による集計上の誤差が生じることがあります。

Q. 子供が大人になるためにはどのような条件が必要であると思いますか？（いくつでも）

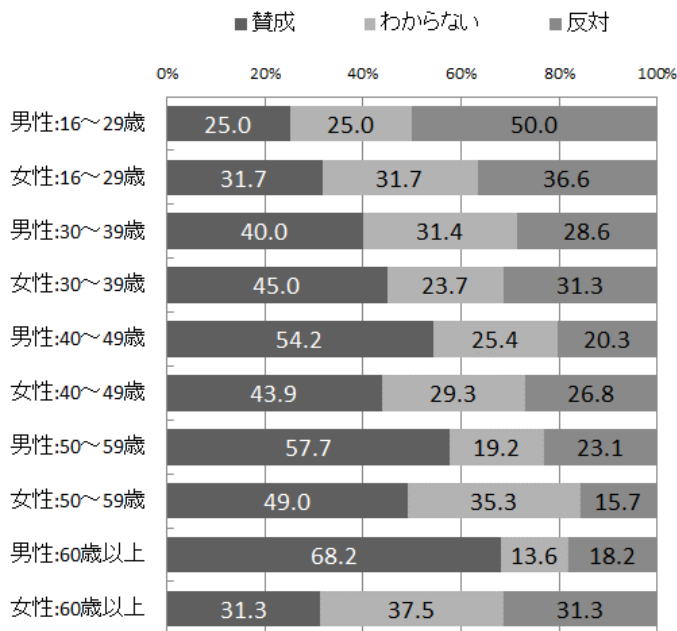


(設問参考:内閣府「民法の成年年齢に関する世論調査」)

岡山県民が考える『大人』(の条件、定義)というのは、精神の成熟(=判断能力)は当然重視するものの”実態”によって大人か否かを判断しているようです。特に高齢層においては、結婚・子供といった所謂”自分の家庭を持ったとき”に大人と認める人が多く見られます。

選挙権18歳以上への引き下げに「反対」している人というのは、詳しく見ていくと30代40代の子供を持つ女性に多く、彼女たちはとりわけ精神の成熟を重視する傾向があり、また、経済的自立など”社会人であること”を大人の条件とする傾向が他層より強く出ています。学生には投票は無理といった考えを持っている様子が見られます。

Q. 多くの法律に関連してくる『成人年齢を18歳以上に引き下げる』民法改正について、あなたは賛成ですか？反対ですか？



選挙権年齢の引き下げについては性差が見られましたが、成人年齢の引き下げについては、年代差が見られません。

年代が上がるにつれ、「賛成」と回答する人が増えています。

成人年齢引き下げ～「賛成」の理由

- 以前より精神的に早熟な若者が多いと思うから。(26歳 女性 久米南町)
- 責任をとれる歳だと思うから。(26歳 男性 倉敷市)
- 高卒で働いてる人とかは18だし、社会人として不便だろうから。(27歳 女性 岡山市)
- 子どもの犯罪が増えている現在、大人と同じ責任を持たせるべきであると思うから。(34歳 女性 岡山市)
- 刑事事件などには賛成。(35歳 男性 和気町) 選挙権引き下げと連動させるべき。(37歳 女性 和気町)
- 責任は18でならもう十分問えると思います。(38歳 女性 岡山市)
- 本来なら十分大人だと思うから。(40歳 女性 岡山市)
- 自分に責任が持てる年齢だから。(41歳 男性 岡山市)
- 引き下げるが、それだけ責任を取らせればいい。何の問題があるのか全くわからない。(41歳 男性 玉野市)
- 18歳から自動車免許は取れるので。(41歳 男性 矢掛町)
- 高校卒業後は、みんな酒飲んでるので。医学的な根拠が崩れているのでは？(43歳 男性 岡山市)
- 少年法などの悪法があるから。(43歳 男性 倉敷市) もっと低くてもいい。(44歳 女性 早島町)
- 高校を卒業して働く人もいるのだから 責任をあたえれば良いと思う。(44歳 女性 岡山市)
- 犯罪において少年だからという理由で加害者だけが守られてるのが許せない。(45歳 女性 岡山市)
- 社会的に結婚できるのなら成人であるとすべき。(46歳 女性 岡山市)
- 責任を感じるようになってほしいから。(46歳 女性 津山市)
- 大人としての責任を持ってもらうため。(46歳 男性 赤磐市)
- 悪質な犯罪が多い割には保護されているので。(47歳 男性 岡山市)
- 昔より子供の成熟が早いので。(49歳 女性 岡山市)
- なぜ今まで20歳であったのかの根拠を教えてほしい(50歳 女性 岡山市)
- 18歳で社会人として生活を営んでいる。(59歳 男性 岡山市)
- 個人の自覚を促すため。(65歳 男性 倉敷市)
- 18歳は充分、大人として扱うべき年齢だと思う。(65歳 男性 備前市)
- 社会的責任に自覚が不足している。(66歳 男性 岡山市) もう大人であるため。(66歳 男性 津山市)
- 高校を卒業すれば成人とみなせばよい。(67歳 男性 岡山市)
- 生きている緊張感が早く実感できる可能性が高くなる。(71歳 男性 岡山市)

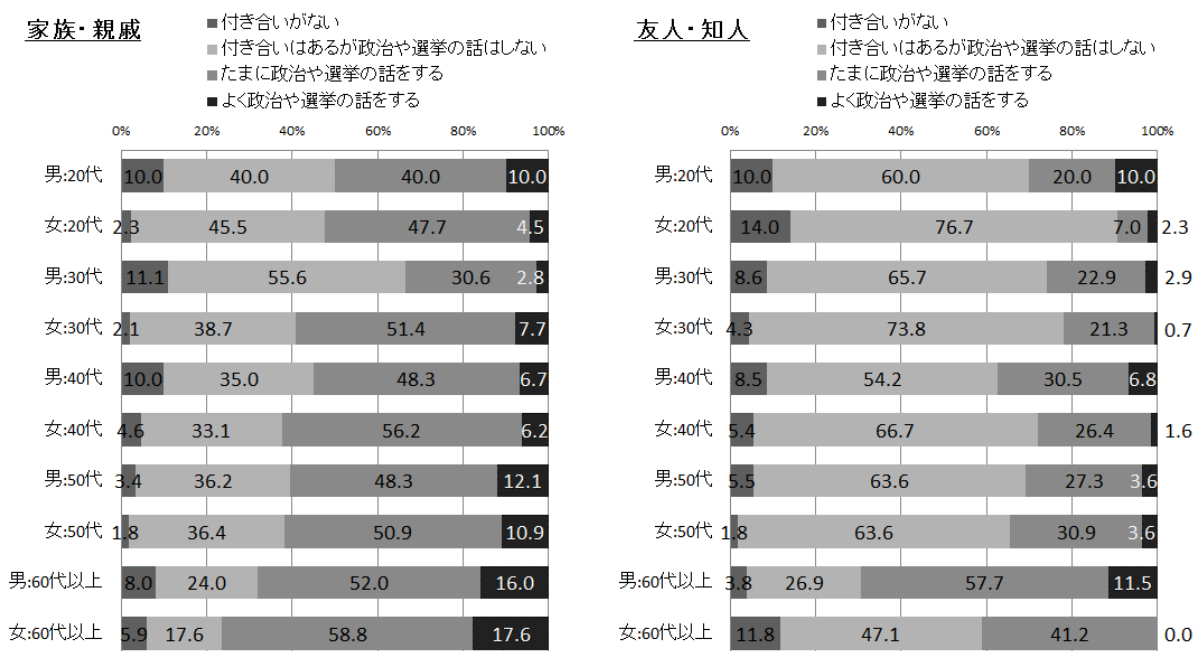
成人年齢引き下げ～「反対」の理由

たばこやお酒など、有害なものに早期に手を付ける若者が増えるから。それに伴い事故率・犯罪率も上昇する恐れがある。(16歳 男性 倉敷市)
 成人は二十歳からで良い。引き下げるメリットがわからない。(25歳 男性 倉敷市)
 分別がついていないです。(26歳 女性 岡山市) 未熟な人が増えるだけ。(27歳 女性 岡山市)
 飲酒や犯罪責任についても、18歳ではルールを守れる人が少ないのではないかと思うから。(29歳 女性 浅口市)
 飲酒は20歳でいい。お酒が入ると事件事故が増える。(32歳 男性 倉敷市)

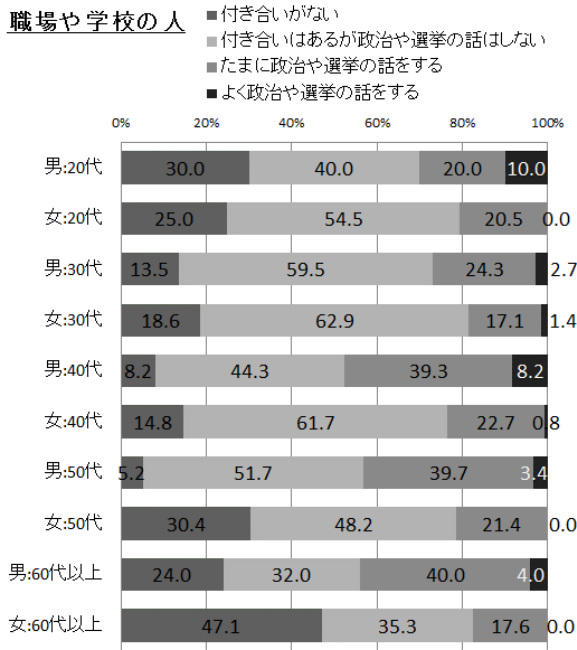
成人年齢引き下げ～「わからない」の理由

まだ判断できるほどの情報を入手していない。(38歳 女性 岡山市)
 高校を卒業したらお酒は飲んでも良い気がするが、高校生のうちは控えるべきだと思うし、成人したら選挙権を上げてもいい気がするが、18歳成人にしなくても良い気がするし、自分の気持ちが曖昧だから。(38歳 女性 新庄村)
 あまり若いうちから飲酒や喫煙するのは良くないような気がするから。(40歳 女性 早島町)
 一長一短あるから一概に言えない。ただ犯罪については年齢など何の関係もないのだから、すべて罰すればよい。(40歳 男性 岡山市)
 育った環境によって随分個人差があるものなので一概には言えない、もっと慎重に考えなくてはならないと思っている。(47歳 女性 真庭市)
 それぞれの法律に対して、年齢を下げているものと、現状維持のほうがよいものがあると思えたから。(48歳 女性 矢掛町)
 責任が取れる(あるいは責任を取れる気概がある)18歳がどの程度いるか疑問。(49歳 男性 岡山市)
 18歳時の職業(学生か勤労者か)にもよるので、年齢でくるのは、特に民法は婚姻者を成人とみなしているからややこしい。(49歳 男性 岡山市)
 お酒は18でもいいだろうけど、同じ高校生で扱いが違うのは変。(50歳 女性 岡山市)
 年齢を引き下げても変化はなさそうだから。(51歳 女性 赤磐市)
 責任を持たせる教育を徹底してからでないと、難しいのでは？(52歳 男性 岡山市)
 目的がわからない。(60歳 男性 赤磐市)

Q. あなたは身近な人と政治や選挙についての話をすることがありますか？



職場や学校の人



出典データ:『選挙に関する岡山県民の意識』(2015年4月自主調査)より

政治や選挙について、誰とどれくらい話をしているのでしょうか。

「家族・親戚」「友人・知人」「職場や学校の人」の3つの人間関係で比べてみると、断トツで多かったのは「家族・親戚」でした。

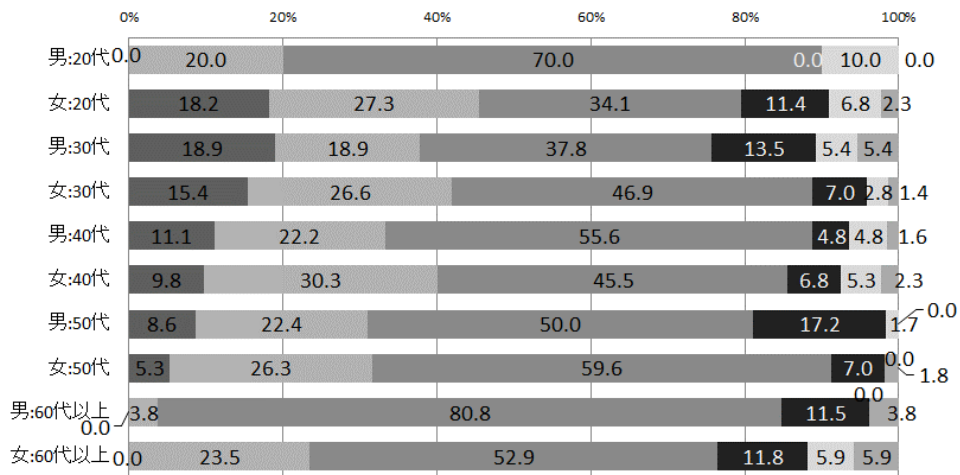
「家族・親戚」と政治や選挙について「たまに話をする」「よく話をする」という人は、男性30代を除き、どのカテゴリも半数超となっており、40代以上は6割を占めるに至っています。

続いて「友人・知人」と「たまに話をする」「よく話をする」という人は、60代以上男性のみが飛び抜けて多く7割に至り、その他のカテゴリは3割前後にとどまっています。

Q. 最近の選挙で投票率が低下してきていると言われていることについて、あなたはどのように考えていますか？

低投票率への評価

- 投票するかしないかは個人の自由なので、別に構わないと思う
- 自分たちの代表を選ぶ選挙だから好ましくないが、やむを得ないと思う
- 投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講じるべきだと思う
- 特に何も感じない
- その他
- 投票率が低下してきているとは思わない



出典データ:『選挙に関する岡山県民の意識』(2015年4月自主調査)より

低投票率の現状について、特に若い世代はどのように考えているのでしょうか。20代男性は「何らかの対策を講じるべき」といった「改善推進派」が60代以上男性と同割合で存在しています。一方の20代女性は「別に構わない」「やむを得ない」といった「現状受入れ派」が他年代女性よりも多く存在しています。